NPO法人 美しいやまがた森林活動支援センター

広い活動を展開しています。 を通して、森林の生態や林業など公益的機能の周知を図るとともに、森と人をつな 美しいやまがた森林活動支援センターは平成19年の設立から、山村と都会の交流 森の技を伝承し、自然と共存する持続可能な生活を体験として伝えるため、幅

森と人をつなぎ、

循環の生活を見直す

美しいやまがた森林活動支援センターは、平成19年、山が大好きなメンバーたちが、「美しいや

活かし、環境教育から林業支援、 に活動を推進する機動力が自慢です。森林に関わる多くの団体や専門家との広いネットワークを メンバーには森林に関わる多様な人材が揃っていて、さまざまな課題にダイナミックかつ柔軟 森林と人の交流を目指す「森の口 美しいやまがた森林活動支援センターでは、 山村振興など多方面で活動を展開しています。 森林の有する公益的機能が発揮され、林業や山村の活性化



②森林緑の公益的機能啓発事業:技術を習得しながらのデッキやポスト、木製小屋づくりなど が図られる真の森林の循環と、環境と人が共生することのできるライフスタイルの実現のため、 ①森林・緑の環境学習事業及びコーディネート:森を知るための案内や学習・運営・調整など の交流を目的にとした「森の11」事業を展開しています。 森林と人

④森林・緑の整備、管理事業:山形市、南陽市、米沢市、飯豊町での森林整備隊活動など ③森林文化の伝承事業:地域文化の探訪や民具の解説、スギ間伐材を使ったアルプホルンの製作と演奏など

⑤森林間伐材など素材供給事業:小屋を作りたい方に間伐材を供給

⑦県産材利用促進事業 : 県産材を利用促進するための工務店や建築主等への調査など ⑥森林生産物供給事業:森でのきのこ作りと供給

⑧森林・樹木の調査・研究・管理・コンサル事業:企業の森などでの樹木調査など

⑩バイオマスエルネギーに関わる事業:ペレットストーブや廃油から作るバイオディーゼルの普及など ⑨環境保全に関わる事業:企業の森などでの環境保全支援など

①県産材利用促進サポート事業:県産材使用住宅の建築実現の支援など

手作りのアルプホルン演奏会 (飯豊町・平成25年10月13日)

NPO法人美しいやまがた 森林活動支援センター

活動内容

環境学習・森林文化伝承事業、森林整備 管理事業、間伐材・県産材利用促進・サ ポート事業、森林・樹木の調査・研究・ 管理・コンサル事業、バイオマスエネル ギー普及事業 など

- 会員数 顧問5名 正会員36名 賛助会員63(個人・団体)(平成26年5月現在)
- 活動フィールド 山形県村山地域(山形市他)、置賜地域(南 陽市、飯豊町他)
- 活動日 随時(月4回ペース)
- ホームページ
 - http://www2.jan.ne.jp/~moridon/
- facebook https://www.facebook.com/forest.yamagata



県産材を活用した 双松公園の売店建設(南 陽市・平成19年5月23日)



JAPAN プロジェクト「冬はもうすぐ。ブ ナの巨木にふれながら希少生物を見つけよう!」 (山形県立自然博物園・平成25年11月4日)



施主の選んだスギを伐採(森の木で家を 建てるプロジェクト・平成19年4月9日)



自然体験学習 (中津川森と暮らしの学校・平成25年6月29日)



幼稚園児を対象としたネイチャ ークラフト教室 (南陽市・平成22年10月5日)

暮らしの学校は、

町の小屋地区にある旧中津川小学校小屋分校校舎を借り受け、

企業CSRと連携

ソフト・こもれびの郷(南陽市)等で企業による森林保全活動のサポートを行いました。 メンバーの持つ豊富な経験を活かし、 日本興亜損保と恊働で全国各地の生き物が住みやすい環境づくりを行う「SAVE JAPAN 年4回の希少生物観察会を開催したほか、 植物名調査や樹名板の設置など、 企業の森林保全活動の支援しています。 環境学習の森としての整備を支援しています イオンの森(飯豊町)、 日通の森(飯豊町)、 平成25年度は、 また、吉野石 ブロ

地元・山形県産木材の利用促進活動では、

産

木

材

0

利

用

促

進活

フロジェクトは、 `学校」から、 手がけた住宅「森から家へ 公園や自然観察道の整備等にも積極的に県産材を使用しています 「森の木で家を建てる」プロジェクトまで、 施主の選んだスギの伐採から一貫して行う家づくりが高い評価を得ています。 入選を果たしました。 森ボックス」は、 スギ間伐材を使ったアルプホルンの制作や演奏を行う「ホ 第2回山形の家づくり大賞コンペの県産材使用住宅部門で 様々な取組を行っています。 森の木で家を建てる 平成20年

多くの方々に「美し やまがた」を堪能してもらうために

に菅細工やスゲ栽培技術の研究から、 今後は、 れら事業を通して若年層会員の活動を積極的に支援しながら後継者の育成にも力を注いでいきます。 これまでの企業、 中津川森と暮らしの学校でのスゲ栽培と菅笠づくり教室を発展させ、 行政・教育機関との連携を大切にしながら、 暮らしの中の里山文化を啓蒙していきたいと考えています。 他の分野のNPOとの連携も模 自然素材を活かし また、

廃校舎を再生 した「中 津川森と暮ら しの学校」 Щ 形県飯豊

環境学習や森林啓発活動の中核となっているのが「中津川森と暮らしの学校」です。 楽しんでもらいながら、 価値観を創造し、 山村への定住につなげていくことを目的に、 都市住民の感性や知恵と地元住民の技や知恵を融合させ、 昭和59年度に廃校となった山形県飯 山里の暮らしを体 町 新たな暮らし方や

統的工芸の菅笠づくり教室とスゲ栽培など各種講座の拠点として使われているほか、企業の里山研修にも

地域交流型の「もりもり元気塾」や継続講座の「山里の暮らし体験塾」をはじめ、

平成23年に開校しました。

中津川森と

地域の伝